

災害時、地域
に飲料水提供

東近江市平柳町 自治会と協定締結

日本庄延工業

日本庄延工業（本社
・滋賀県東近江市、社
長・磯部正信氏）はこ
のほど、同社の地元で
ある東近江市平柳町の
自治会と「災害時にお
ける飲料水提供に関す
る協定書」を締結した。



これは大規模災害時
に、地域社会と共生し
助け合いながら復興を
目指すことが目的。

飲料水は、UACJ
が構築した「水の架け
橋（非常用飲料水）」
を支援物資として提供
する。「水の架け橋」
は、環境に配慮した持
続可能なアルミ容器を
使用している。大きな
特徴では、安心・安全
な水をネットワークシ

水の架け橋

右から 磯部日本庄延工業
社長、國領義昭自治会長、
廣瀬庄司副自治会長と
「水の架け橋」ロゴ

ステムを活用し広域連
携型支援物資として地
域社会に貢献できる点
にある。

自治会には同社製造
のアルミ材から作られ
た消火器も贈呈した。

「当社はアルミ圧延
メーカー。地域貢献に
おいてもアルミ関連で
貢献していく。今後も
より一層、地域に貢献
できるよう取り組みを
進めていきたい」（磯
部社長）としている。

「水の架け橋」はア
ルミニウムメーカー大
手、UACJ（本社・
東京都千代田区、社長
・石原美幸氏）が主体
となり、防災分野への
貢献や地球環境課題へ
の対応を目的に、アル
ミボトル缶の備蓄水と
供給ネットワークサー
ビスを進めているもの。
利用者を段階的に
増やしていくことで、
災害時に飲料水を支援
し合うネットワークの
構築を目指している。